

元気いっぱい一年生



4月4日(木)、暖かい日差しの中、七二会小学校の入学式が行われました。来賓、保護者、そして2年生から6年生の児童が見守る中、4名の新入生が入学式に臨みました。

先生から新入生一人ひとりの名前を呼ばれると、大きな声で「ハ

イ」と答えていました。また、駒津校長先生からは、「なにあい」のそれぞれの字をとって、「(な)かよし」「(に)ここ」

「あいさつ」「(い)のちを大切にする」の4つの言葉についてお話がありました。

最後に、新入生の皆さんが、「ドキドキドン!一年生」を歌ってくれました。元気いっぱい、笑顔いっぱいの新一年生です。

なお、今年度は、新入生のほか、2年生2名、4年生1名の転入生を迎え、昨年度より4名増の全校生徒25名でのスタートとなりました。

館報 なにあい

発行所	長野市立七二会公民館 (229-2761)
編集人	館長 高野 光昭
発行印刷	刷 南小池印刷
規模	(6.4.1 現在)
人口	1,306人
男女	607人
世帯	699人
	681世帯

SaSaLANDキープ

旧七二会小学校笹平分校を活用した教育支援センター「SaSaLAND(ササランド)」のオープニングセレモニーが4月6日(土)にありました。

不登校や不登校傾向にある小学生を支援する目的で設置されたもので、静かに勉強できる環境や一人になるための小さなテントやハンモックがあるほか、インターネット上の仮想空間「メタバース」を使って、オンライン上で居場所を作ることにも可能です。

元気な子どもたちの声が聞こえることは、とてもうれしいことです。これからは、地域との連携、地域の方の支援が必要になってきます。子どもたちにとって、新たな学び舎である「ササランド」が、安心して自分らしく過ごせる居場所になるよう、そして、七二会を好きになってもらえるようみんなで応援していきます。



七二会中学校 最後の卒業式と閉校式

3月18日(月)、七二会中学校最後となる卒業式と閉校式が行われました。昭和22年に旧七二会村立七二会中学校として開校し、昭和41年の合併により長野市立七二会中学校となり、現在まで77年もの間、地域に見守られながら長い歴史を刻んで来しました。そしてこの日、最後の卒業生となる6人に卒業証書が授与され、同校から巣立った卒業生は4059人になりました。

瀧田勇治校長は、「一致団結、六人で綴る最高で最後のページ」という生徒会スローガンに託して、びったりのスローガンでした。七二会中学校の最終ページを6人の手で、素晴らしいものにし、仲間や地域の方の役に立とうとする自立の姿を見せてくれました。」と祝辞を述べました。

卒業式のあとに行われた閉校式では、瀧田校長から丸山陽一長野市教育長に校旗が返納され、丸山教育長が「輝かしい伝統と数多くの功績を残した長野市立七二会中学校を令和6年3月31日をもって閉校することをここに宣言いたします。」と閉校を宣言し、七二会中学校の77年の歴史に幕を閉じました。



校旗返納



最後の卒業生



長野市立七二会中学校閉校記念式典

ふるさと歴史をつなぐ会 ～七二会中の伝統を未来へ～

令和6年3月10日(日)、七二会中学校体育館において、「長野市立七二会中学校閉校記念式典」が、約320人の出席のもと挙行されました。

主催者を代表して、七二会中学校閉校記念事業実行委員会の塚田久委員長と瀧田勇治七二会中学校長の挨拶の後、来賓の萩原健司長野市長、第12代七二会中学校長の滝澤忠男さん、七二会中学校同窓会代表の酒井健次さんが挨拶しました。また、同窓生を代表して、昭和23年度卒業生で91歳の小林勝さんと平成8年度卒業生の渡邊さやかさんからも挨拶がありました。式典の中では、学校風景や行事のスナップ写真などをまとめた動画などが上映されました。

七二会中学校最後の卒業生6名を代表して、前島あゆみさんが「学校はなくなるが、思い出はなくなるらない」と挨拶しました。

式の中では、生徒会歌「はばたけ大空に」を中学校在学時に作詞した吉沢さよさんと作曲した内山直彦さんがステージに上がり、「1回だけの披露のつもりが、こんなにも歌い継がれた」と作成秘話をお話しいただきました。最後に、出席者全員で校歌を大合唱して式典を閉じ



吹奏楽OB・OG等による演奏



みんなで「故郷」を歌う

ました。

続いて行われた第2部では、吹奏楽部OB・OGを中心に総数39名による閉校記念コンサートが行われ、七二会中学校畑中浩美先生の指揮のもと、エドガー・エルガーの「威風堂々第一番」、いきものがかりの「ありがとう」、AKB48の「365日の紙飛行機」、坂本九の「上を向いて歩こう」を演奏し、最後に、演奏に合わせて来場者全員で「ふるさと」を歌いました。

曲の合間には、MCをした松本寿弘さんと渡邊明美さんの軽妙な話術もあり、楽しい、心に残る記念コンサートになりました。

第3部として感謝の集いを七二会小学校体育館で行い、旧友や恩師との久方ぶりの出会いに会話が弾んでいました。

心温まる式典を準備していただきました七二会中学校閉校記念事業実行委員会の皆様、本当にありがとうございました。



閉校記念碑

就任のあいさつ



七二会地区区長会長 山本晴信

今年度、区長会長を拝命しました笹平区の山本です。

七二会は、高齢化、人口減少が著しく、地域課題も多いと感じています。

加えて本年3月には、七二会中学校が閉校となり寂しさを感じます。

一方、4月からは旧七二会小学校笹平分校を活用した教育支援センター「ササランド」が開設し、地区外から多くの子供たちが集まってくることとなりました。

今後は、公民館との連携も期待されると思います。



七二会地域公民館連絡委員会 委員長 塚田建夫

今年度、地公連委員長を務めることとなりました大安寺公民館長の塚田です。

よろしく願っています。

コロナ禍を脱却して昨年から公民館事業も以前の活動状況に戻ってまいりましたが、少子高齢化の波は止めることはできません。

本年度地公連では、ソフトバレーボール交流大会、野球に替えて高齢者も参加できるポッチャ大会、小学校とコラボした大運動会、及び文化芸能祭を計画しました。公民館事業に参加していただいて地域の皆さまの交流を深めるとともに活性化を図ります。



七二会警察官駐在所 藤倉憲人

七二会の皆様、こんにちは。

本年の異動により、七二会警察官駐在所に着任いたしました藤倉憲人と申し上げます。

以前の勤務地は長野市若穂地区です。今まで東北信、中南信地区と県内万遍なく勤務してまいりましたが、長野市西部地区での勤務は初めてでありますので、地理の把握から勉強させていただいております。

七二会地区が穏やかで安全な地区である様、警戒活動等しっかり行いたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



消防団七二会分団長 宮川幸憲

今年4月より消防団七二会分団長を拝命した瀬脇区赤坂小区的宮川と申します。

就任直後、建物火災が発生し、2年間続いていた無火災が途絶えてしまいました。非常に残念なことですが、気持ちを切替え、火災予防に注力していく所存です。

現在、分団員は大規模災害対応を含め73名ですが、全員が本来の仕事をしているからの活動となります。そのため、有事の際は迅速な対応が出来ない状況であり、住民の皆さまの協力が不可欠です。普段の何気ない行動が、大きな火災に発展することもあります。毎週7日は「市民防火の日」。住民の皆さま全員が消防団員になったつもりで火災予防に心掛けていただけると幸いです。

しょう。大勢の皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

「七二会の野鳥」講座

2月21日(水)に七二会公民館で行い、15名の参加者がありました。

市街地に近いのに自然が多く残っている七二会には、数十種類の野鳥が生息しています。また、昨年の5月には、コウノトリが1羽、谷原や市場に飛来しました。そこで、趣味で野鳥の写真を撮っている小林旬さんを講師に迎え、身近で見ることが出来る野鳥について、ご自身が撮った鳥の写真や動画をスクリーンに映しながらお話ししていただきました。皆さんも、散歩のときに野鳥を探してみませんか。



七二会小坂福寿草まつり

3月3日から27日まで、七二会小坂福寿草まつりが開催されました。

3月20日には、若林健太衆議院議員、小泉栄正長野市議会議員を来賓にお迎えして式典が行われ、北石輝三(期待してるぞう)こと北島和幸さんのサクソフォンと岩草区在住の新村邦明さんのピアノのすばらしい演奏が式典に花を添えました。



福寿草群生地には、緑がかった黄色の花が斜面一面に咲いていました。

守田神社春季例大祭

家内安全と五穀豊穡を願う守田神社の春季例大祭が4月21日(日)に行われました。今年度は、五十平区がねり当番を務めました。

宝船の巡行や境内では餅や菓子の御供がまかれ、神楽殿では、古間若連による太々御神楽の奉納や陣馬平音頭の披露、汐入規予さんの歌とアコーディオンと新村邦明さんのピアノ演奏のほか、守田神社クイズ大会もあり、楽しく賑やかな例大祭となりました。



地公連新体制が決まる

4月13日(土)に、七二会地域公民館連絡委員会委員総会が開催され、新役員が決定されたほか、令和6年度の事業計画及び予算が承認され、新年度事業がスタートしました。皆様のご参加をお待ちしています。

主な新役員の皆様(敬称略)

委員長 塚田 建夫(大安寺)
副委員長 小山 正彦(平出)
副委員長 山本 浩一(笹平)
会計 竹越 昌司(瀬脇)

令和6年度 七二会公民館・地公連事業計画の概要

公民館主催事業

ラジオ体操の集い 月1回 4月～11月
※今年度の会場は、小学校グラウンド(雨天時は小学校体育館)です。
親子学級講座(あそびの広場)全14回 5月～12月
ちょっとお助けパソコン教室 月1回 5月～3月
各種教養講座 6月～3月随時開催
大人の社会見学 7月1日(月)
歴史探訪 11月15日(金)
小学生講座(夏休み講座、冬休み講座、春休み講座) 未定
お届け芸術館コンサート 未定
「館報なにあい」年4回発行(6・9・12・3月)
七二会公民館運営審議会 未定

地公連共催事業

地域公民館役員交流研修会 6月2日(日)
ソフトバレーボール交流大会 7月7日(日)
ポッチャ大会 8月25日(日)
第3回七二会地区大運動会 10月6日(日)
第43回文化芸能祭 11月2日(土)～3日(日)
成人式 令和7年1月3日(金)

おことわり

各事業は、当初計画段階のものであり、中止や延期又は内容を変更する場合があります。

令和6年度役員紹介

◆区長会

◎会長 ○副会長

瀬脇 宮澤 一宏
坪根 赤塚 修
倉並 石坂 千春
五十平 ○太田多実雄
古間 北島 弘
平出 宮澤 富男
上橋 小山 徳雄
上橋 朝日 詠智
岩草 溝口 富重
大安寺 ○山本 晴信
笹平

◆地域公民館連絡委員会

◎委員長 ○副委員長

瀬脇 竹越 昌司
坪根 小池喜久男
倉並 石坂 孝男
五十平 峰村 栄一
古間 本藤 紀之
平出 ○小山 正彦
上橋 山田 正明
上橋 山田 忠芳
岩草 林 忠芳
大安寺 ○塚田 建夫
笹平 ○山本 浩一

(敬称略)

人事異動

（敬称略）
転入の（ ）内は前任
転出の（ ）内は異動先

◆七二会支所

〈昇任〉
支所長補佐 岡澤 雅彦（七二会支所）
〈転入〉
係長 柏崎みどり（資産税課）
主事 平澤 智（公園緑地課）
職員 堀川ちなつ（川中島支所）
〈転出〉
支所長補佐 松本 恵（市民税課）
職員 石坂 紫野（退職）

◆住民自治協議会事務局

〈新規採用〉
地域活性化推進員 塚田 久
地域助け合いコーディネーター 石坂 美紀
〈退職〉
地域活性化推進員 滝澤 資大
地域助け合いコーディネーター 小林さゆり

◆中央消防署七二会分署

〈転入〉
係長 柳澤 秀俊（若穂分署）
係長 本道 健司（柳原分署）
係長 内山 敬（篠ノ井消防署）
係長 島田 正一（豊野分署）
主査 小林 大輝（更北分署）
主事 島崎 和也（新規採用）
主事 小林 丈朗（新規採用）

〈昇任〉
主事 西塾 一輝（七二会分署）

〈転出〉
係長 青木 信幸（鬼無里分署）
係長 中村 静男（更北分署）
係長 小林 正幸（若槻分署）
係長 塚田 豊（信濃町分署）
係長 塚田 祥之（若穂分署）
主査 鷹見 聖秀（鶴賀消防署）
主事 船木 匠（若槻分署）
主事 大波 凜空（鶴賀消防署）

◆七二会小学校

〈転入〉
三年担任 今井 菊代（飯綱町立三水小学校）
庁務 常田 秀樹（長野市立信更小学校）
学校司書 増田 志穂（新任）
〈転出〉
庁務 池田 弘明（長野市立豊野西小学校）
教科指導 久保田祐子（長野市立青木島小学校）
事務 林 素子（退職）
学校司書 和田 一美（退職）

◆七二会中学校

〈転出〉
校長 瀧田 勇治（長野市立緑ヶ丘小学校）
教頭 伊藤 雄基（退職）
学年主任（数・理） 黒沢 浩二（長野市立川中島中学校）
3年副担任（音楽・家庭） 畑中 浩美（小川村立小川中学校）
3年副担任（英・社） 野澤 重典（長野市立篠ノ井西中学校）

3年担任（保体）

鈴木 柊也（長野市立西部中学校）
養護 宮島加奈子（長野市立川中島中学校）
事務 神戸 園実（小諸市立美南ガ丘小学校）
司書 和田 一美（退職）
庁務 塚田 栄（長野市立真島小学校）

◆長野市教育支援センター

施設長（リーダー）
大日方 博（新規採用）

◆七二会駐在所

〈転入〉
藤倉 憲人
〈転出〉
依田 和憲

◆七二会子どもプラザ

館長兼校内責任者兼支援員
下条 光子
〈転出〉
施設長 小池 一秀（退職）

七二会子どもプラザ
施設長退任の挨拶

小池 一秀

小学校南校舎の階段を上がって行くと、子どもの大きな笑い声や叫び声等が聞こえてきます。3階の会議室に入ると、1年生から6年生の子ども達が元気いっぱい遊んでいます。ここが、放課後を安心して安全な場所として過ごす「七二会子どもプラザ」です。

平成16年に、小学校内に放課後留守家庭児童を対象にした「七二会児童クラブ」が開設され、平成23年度からは「七二会子どもプラザ」と改称し、希望する全学年の児童を受け入れてきました。

子どもにとって、異年齢集団の交流は、遊びと学びの原点です。私達プラザ職員は、常に「子ども達のために何が大事か、何ができるか」を考えてきました。小学校の先生方には、子ども達の支援について、いつも親切に相談やご助言をいただきました。地域のアドバイザーさんには、折り紙や将棋、バドミントン、ドッジボールを楽しく指導してもらいました。春や夏、冬休みには、公民館主催の「小学生講座」が開催され、フラワーアレンジメント、ソルガム入りの郷土料理作り、お正月のミニ門松作り等、子ども達には大変貴重な体験学習でした。

俳句 兼題『春塵 炭餅』

四月の陣場会より
飽食に生き永らへて炭餅
春塵や庇の長さ伽藍堂
校庭の桜しべ降る昼下がり
春塵の台座ヒンデンブルグ号
子の住みし街の変はりて春塵
沈丁の香りまといて庭いじり
善光寺久びさ友と炭餅
貝殻の模様それぞれあさり汁

私達プラザ職員は、常に「子ども達のために何が大事か、何ができるか」を考えてきました。小学校の先生方には、子ども達の支援について、いつも親切に相談やご助言をいただきました。地域のアドバイザーさんには、折り紙や将棋、バドミントン、ドッジボールを楽しく指導してもらいました。春や夏、冬休みには、公民館主催の「小学生講座」が開催され、フラワーアレンジメント、ソルガム入りの郷土料理作り、お正月のミニ門松作り等、子ども達には大変貴重な体験学習でした。

私事ですが、本年3月をもって七二会子どもプラザの施設長を退任いたしました。15年の長い間、保護者の皆様や小学校の先生方、プラザ運営委員会、地域の皆様方に多大なご支援、ご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。これからも「七二会子どもプラザ」が、家庭、学校、地域との深い連携の中で、「心豊かな育ちの居場所」として、益々発展されますことを祈念いたします。

（長年勤められた施設長を退任するに当たりご寄稿いただきました。）